

平成30年度

青梅市

自治会アンケート調査報告書

青梅市市民活動推進課

青梅市自治会連合会

# 目 次

I	調査の概要	1
II	調査結果	
問1	自治会内の役員の選出方法について	1
問2	役員手当の有無及び内容について	1
問3	自治会活動従事回数（月）	2
問4	自治会費及び集金の回数	2
問5	自治会活動への女性の参画	3
問6	小・中PTA、学校との連携	3
問7	自治会の規模	4
問8	自治会でやっている活動	4
問9	力を入れている行事と、その分野	5
問10	自治会運営の課題について	6
問11	自治会運営の課題への取組みについて	6
問12	課題解決のために必要なこと	8
問13	課題解決のために自治会で取り組んでいること	8
問14	課題解決のために行政が取り組むべきこと	10
	自治会活動に関する意見	

## I 調査の概要

調査の目的 各自治会の課題等の現状を整理し、今後の自治会の取り組みや、青梅市の地域支援事業に活かしていくことを目的として実施した。

調査期間 平成30年7月下旬から8月31日

調査対象 平成30年度青梅市内の自治会長 170人 (172人)

回答数 143自治会【84.1%】 (160自治会【93.02%】)

図表の見方 図(グラフ)の中で使用されているアルファベットの意味は次のとおり。

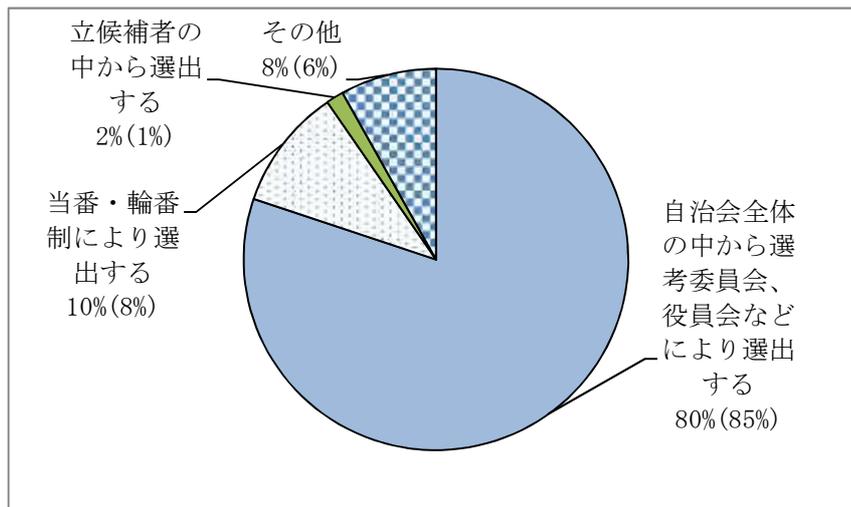
N: その設問に対する回答者数 例: N=143・・・回答者数は143

( )は前回の調査結果。

## II 調査結果

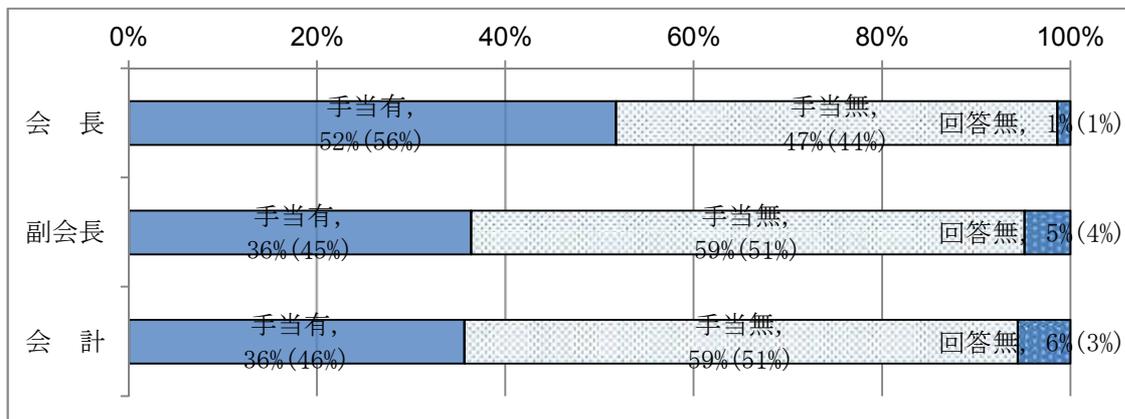
### 問1 自治会内の役員の選出方法について

- ・「自治会全体の中から選考委員会、役員会などにより選出」が最も多く80%を占めている。次いで「輪番制」が10%で、「立候補者の中から選出する」は2%、「その他」は8%で、推薦や選挙等がある。



### 問2 役員手当の有無及び内容について

- ・「会長」は半数以上、「副会長」、「会計」は、およそ4割の自治会において、手当を支給している。



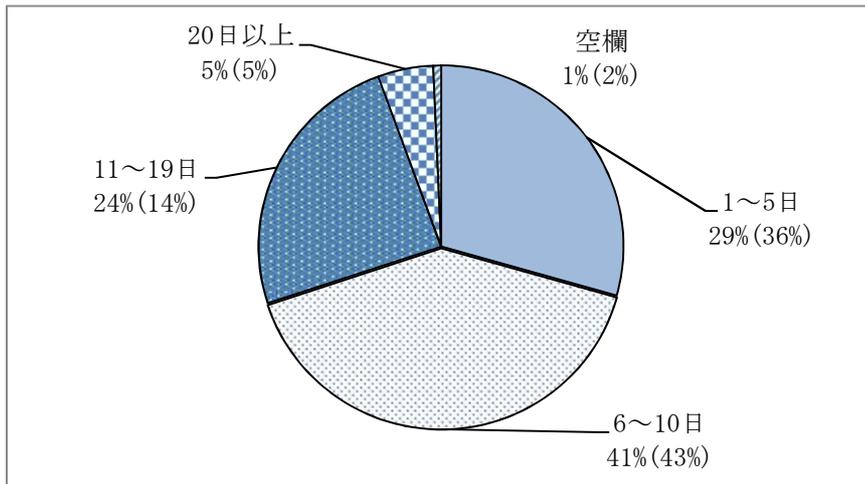
N=143  
(160)

### 役員手当の内容

- ・役員手当がある自治会のうち、会長、副会長、会計のいわゆる三役は 10,000 円～29,999 円が最も多かった。自治会長については最低 5,000 円から最高 150,000 円、副自治会長については最低 2,000 円から最高 50,000 円、会計については最低 2,000 円から最高 30,000 円と自治会によりかなりの差がある結果となった。

### 問3 自治会活動従事回数（月）

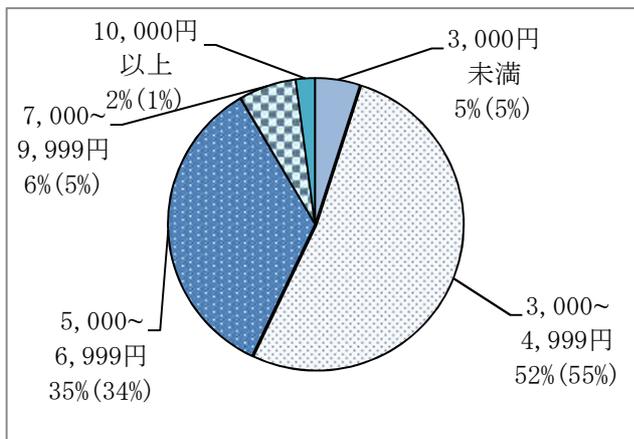
- ・「6～10日」が41%、次いで「1～5日」が29%、「11～19日」が24%、「20日以上」が5%の順となっている。



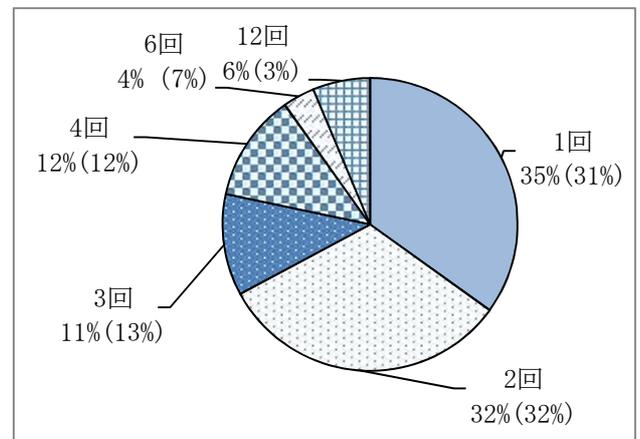
### 問4 自治会費及び集金の回数

- ・年間の自治会費は、金額の低いところは1,200円、最高で10,000円となっており、自治会によってかなりの差があることがわかる。
- ・集金回数は、年1回、2回が多く、合わせて67%である。集金にかかる手間を減らすため回数を減らす自治会がある一方、1回当たりの支払い金額を抑えるため回数が多い自治会もある。

#### 会費（年間）

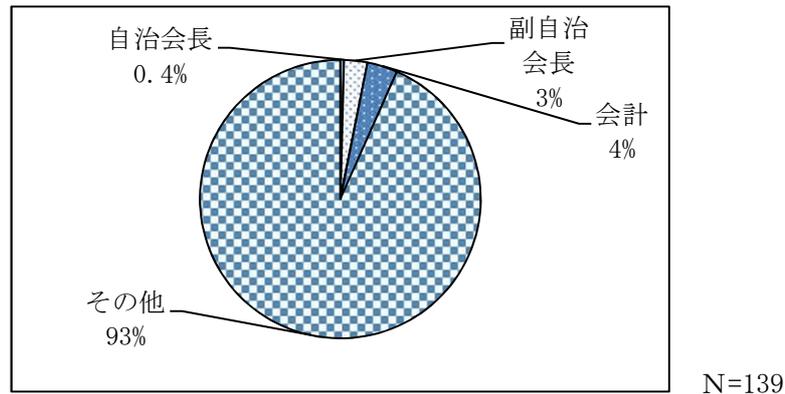


#### 集金回数



## 問5 自治会活動への女性の参画

- ・自治会役員の数 3,098 人のうち、女性役員数は 485 人で、自治会役員数の 15.6%であった。また、女性役員のうち、自治会長は 2 人、副自治会長は 13 人、会計は 17 人であった。



### 女性の参画を増やす具体的な取組（主な意見）

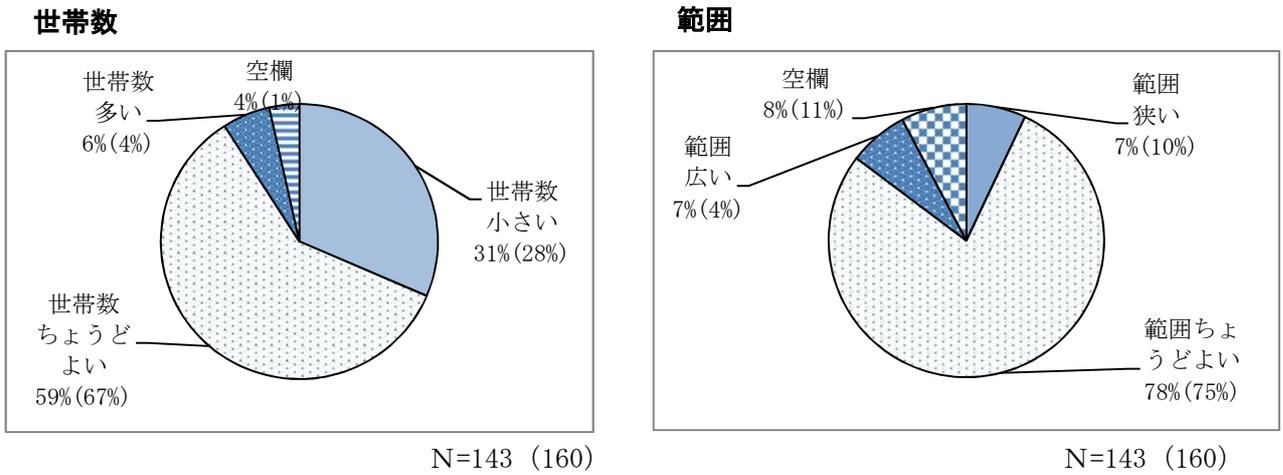
- ・祭り、スポーツ大会、清掃、資源回収などに女性の参加をさらに増やす中で、将来女性役員につなげたい。
- ・体育委員を数年に 1 回は女性を起用する。
- ・三役への登用 環境美化活動に女性メンバーを増やす 防火防災担当への登用
- ・三役の定数 5 名を 1 名増員し、女性副自治会長を置くことを検討していきたい。（将来的には自治会長へ育成を図る）
- ・男性のいない世帯が増えていることから、安全協会役員、環境美化委員、祭典委員などに女性を少しずつ依頼している。将来的には三役にも登用できる人材が出てもらいたいと考えている。自治会のイベントに女性が参加しやすい（楽しめる）ものを増やすようにしている（花壇づくり、ハイキングなど）
- ・自治会傘下の子ども会育成会・高齢者倶楽部の女性メンバーの中から意欲的な方を自治会役員へ積極的に登用している。

## 問6 小・中PTA、学校との連携（主な意見）

- ・広報誌をいただき、各隣組に回覧（小、中、高）、避難場所とさせていただいている青梅総合高校での防災訓練等への参加
- ・SNSを利用した情報共有
- ・小PTAとは各種事業遂行上連携し行っている。都立多摩高等学校の文化祭や防災訓練に自治会員が参加、また学校側より先生と生徒が青梅大祭に参加している。
- ・防災訓練、中学校教師及びPTA役員と懇談会
- ・防災訓練は小学校と合同で実施。資源回収は小学校、中学校と協力している。
- ・学校運営連絡協議会への参画
- ・資源回収、盆おどり大会、祭典等、合同で取り組んでいます。
- ・防災訓練を小学校、中学校、自治会と一緒にやっています。
- ・第八支会の取組として、防災訓練を中学校と合同で実施。小・中学校で自治会長が地域の歴史について授業。大塚山の草刈りを6月と9月に小学校、PTAと実施。
- ・年1回中学校と地域の意見交換 小中学校の入卒業式等への出席

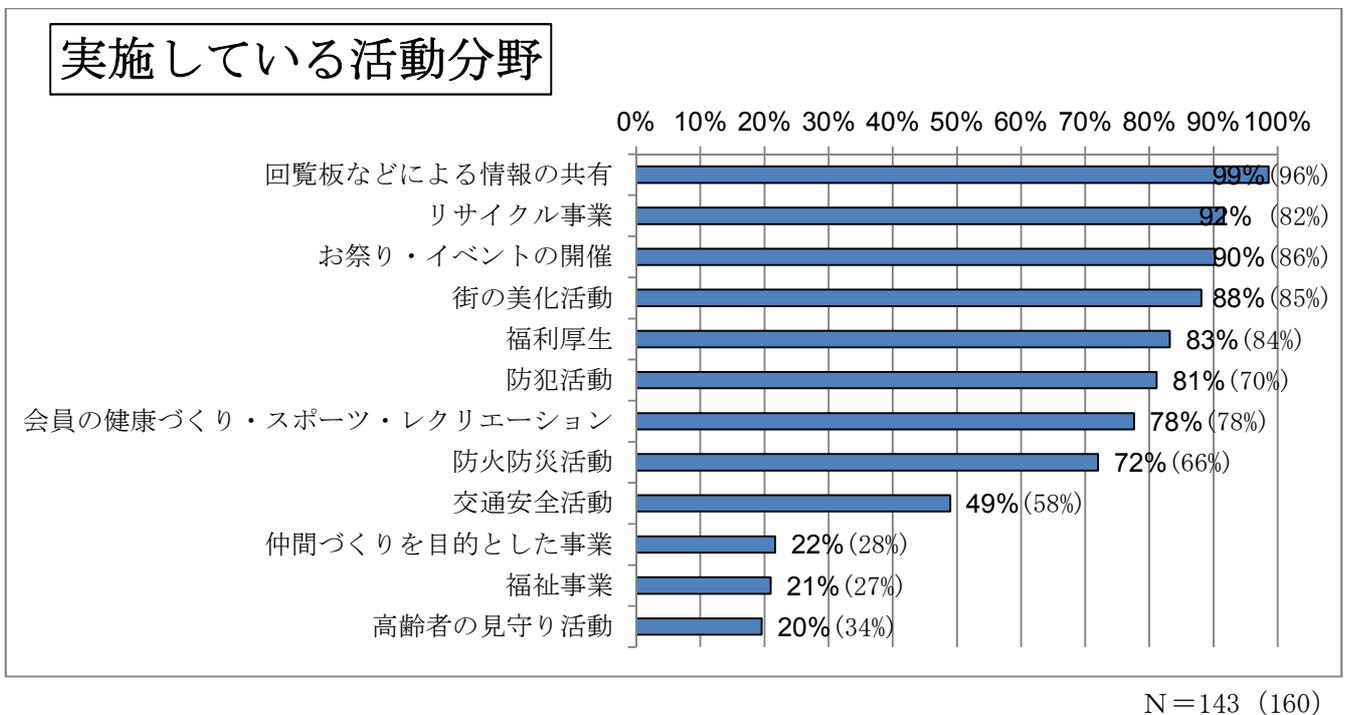
### 問7 自治会の規模

・自治会の世帯数については59%、範囲については78%の自治会が「ちょうどよい」という回答であった。また、世帯数については、31%の自治会で「小さい」、6%の自治会で「大きい」という回答であり、それぞれの自治会で違う問題を抱えていることがわかる。

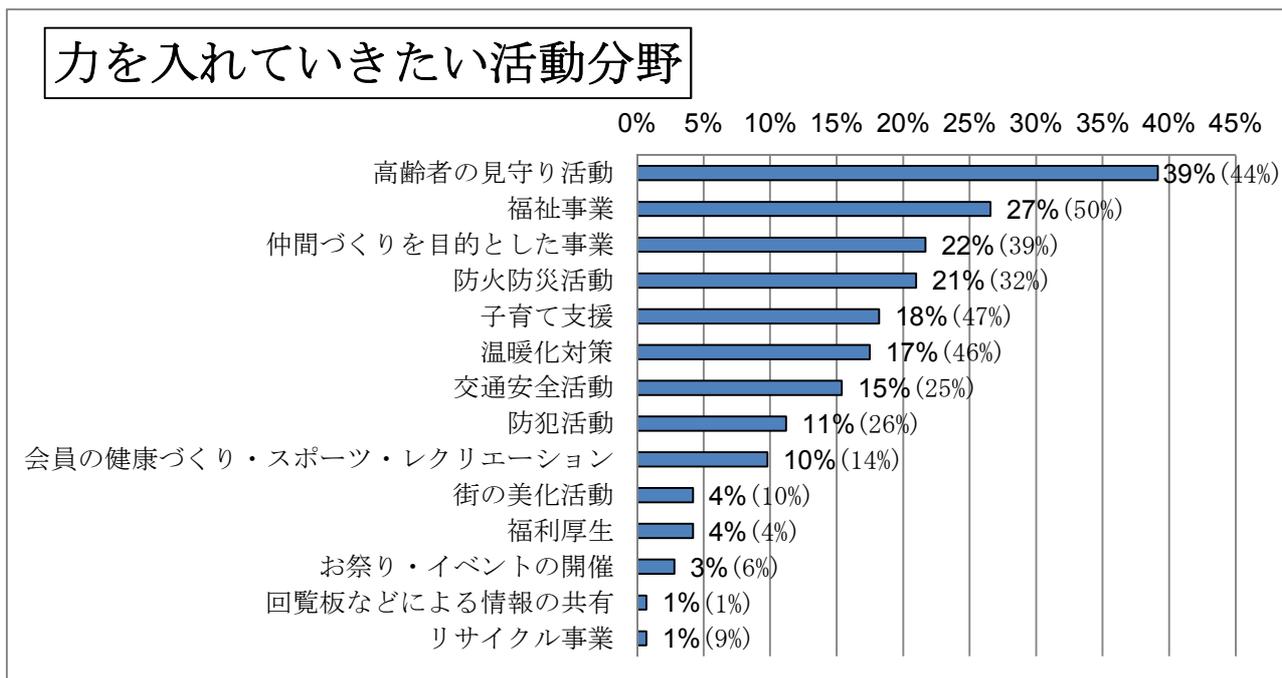


### 問8 自治会で行っている活動

・実施している活動については、市からの委託も含む「回覧板などによる情報の共有」が最も多く99%、次いで「リサイクル事業」92%、「お祭り、イベントの開催」90%、「街の美化活動」88%、「福利厚生」83%、「防犯活動」81%、「会員の健康づくり・スポーツ・レクリエーション」78%、「防火防災活動」72%と続いている。



・今後力をいれていきたい活動について、最も多かったのは、「高齢者の見守り活動」39%、次いで「福祉事業」27%、「仲間づくりを目的とした事業」22%、「防火防災活動」21%と回答している。

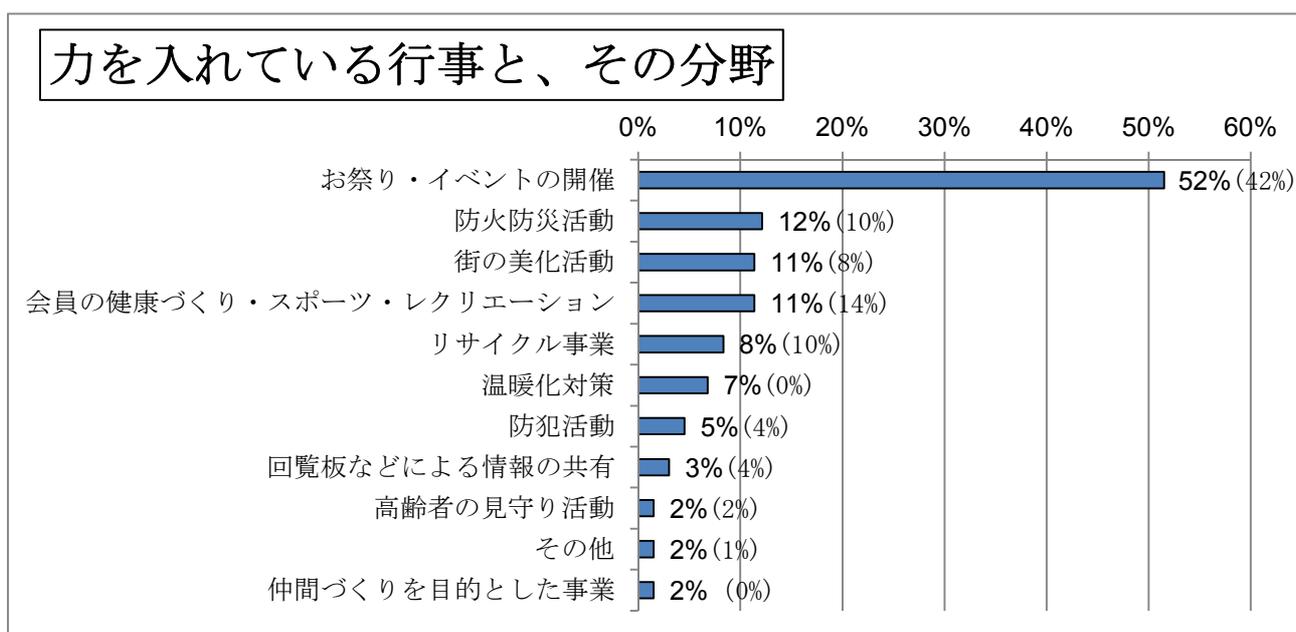


N = 143 (160)

・縮小又は廃止したい活動については、「会員の健康づくり・スポーツ・レクリエーション」が3%、「交通安全活動」、「お祭り・イベントの開催」が2%、などとなっているが、いずれも低い数値となっている。

#### 問9 力を入れている行事と、その分野

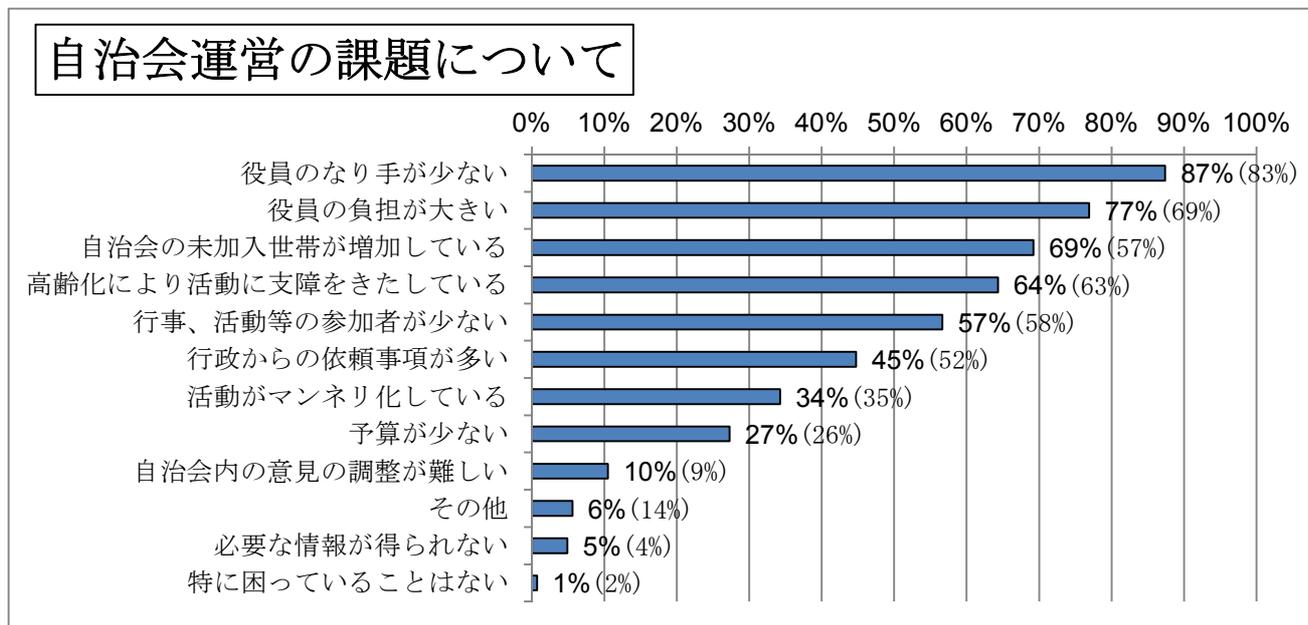
・「お祭り、イベントの開催」が52%を占め、自治会の一大行事であることが伺える。次いで、「防火防災活動」12%、「街の美化活動」「会員の健康づくり・スポーツ・レクリエーション」11%となっており、お祭り・イベント以外の項目に重きを置く自治会の割合は15%以下と低くなっている。



N = 132 (151)

### 問10 自治会運営の課題について

・自治会運営の課題で、最も多かったのが、「役員のなり手が少ない」で87%となり、役員改選に苦慮している状況である。次いで「役員の負担が大きい」77%、「自治会未加入世帯が増加している」69%、「高齢化により支障をきたしている」64%、「行事、活動等の参加者が少ない」57%と続き、「行政からの依頼事項が多い」も約半数の自治会の課題となっている。



N = 143 (147)

### 問11 自治会運営の課題への取組みについて

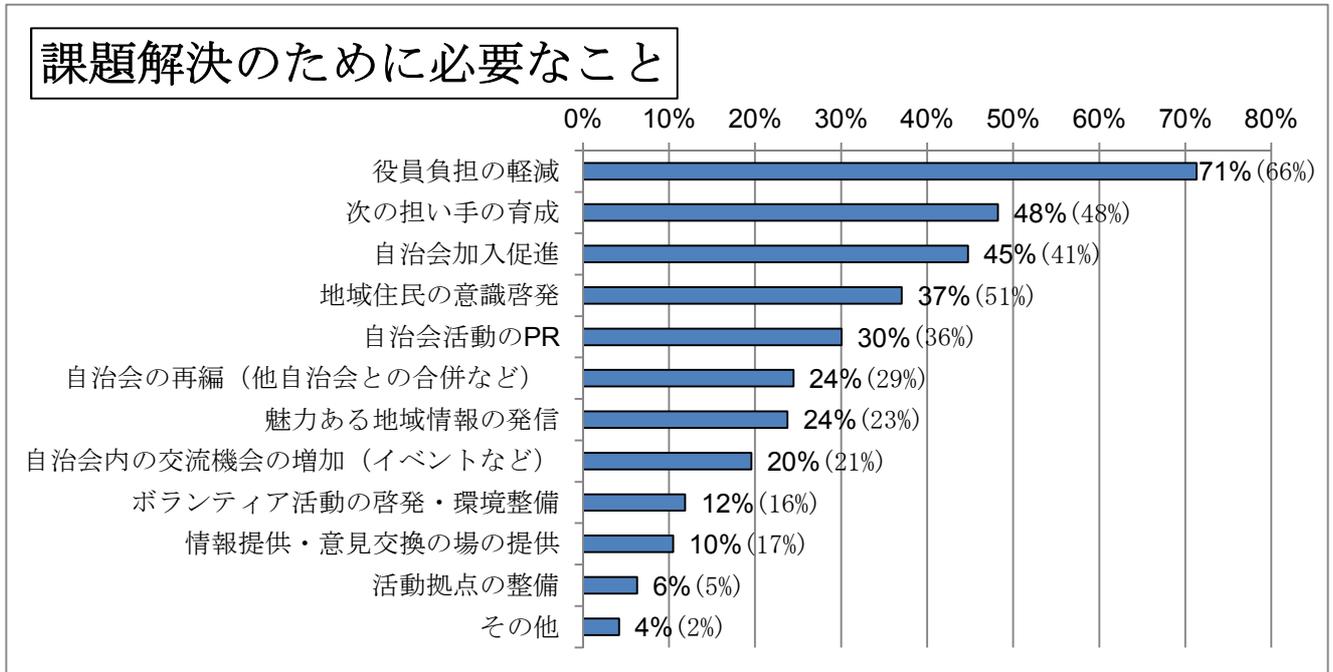
・問10で挙げられた課題を解決するため、検討・実施している取組について、100の自治会から挙げられた主な回答を次のとおり分類・集計した。

自治会運営の課題への取組みについて	件数
● 役員になり手が少ない	20件
<ul style="list-style-type: none"> <li>・役員を選任する自治会規約の改定を行った</li> <li>・選考委員会を新たに設置</li> <li>・若手人材の発掘 会則、組織の見直し</li> <li>・現役が多く自治会役員には無理と言われるのでターゲットを55才～65才としている</li> <li>・役員選考委員会による日頃からの役員探し</li> <li>・理事、体育部等自治会活動経験者から役員候補を見出している</li> <li>・役員経験者で推選委員会を作り、個々にお問い合わせしている</li> <li>・副会長職を2名から1名にした</li> <li>・従来各ブロック（6ブロック）単位で輪番制であったが、旧（現）ブロック役員（6名）と新ブロック役員（6名）計12名にて協議による互選方法を検討中（規約改定含む）</li> <li>・子ども会育成会メンバーの中から意欲のある方を探し登用に努めている</li> <li>・輪番制の工夫（マンション管理組合理事との重複を避ける等）を実施した</li> <li>・会計と副会長の兼務を検討。現行；会計→副会長→会長だと6年 改正；副会長兼会計→会長だと4年</li> <li>・会員全員から公募、前回までは公募要項を回覧による呼びかけだったが、応募者は一人もいなかった。今回は要項を各家庭に配布する予定</li> </ul>	(24件)

<p>● 役員の負担が大きい</p>	17 件
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 役員の為、行事をスリム化し、負担を減らすよう努力している</li> <li>・ 盆踊り等の行事を町内の各種団体に依頼している</li> <li>・ O A 化等を活用し、委員会等の時間を軽減。連絡体制もメール、ライン等により迅速、確実に実施</li> <li>・ P C、スマホにより情報を共有化し、会合をより少なくしている</li> <li>・ 自治会活動の新たな事業拡大は後任者に負担をかけることにつながるので極力行わない</li> <li>・ 慰労会を極力減らしている</li> <li>・ 自治会事業の見直し、役員の適正配置</li> <li>・ 副自治会長、会計に役割を分担してもらっている。（例えば回覧配付は副自治会長にお願いしている）</li> <li>・ 1 人の人に複数の役職を有しない</li> <li>・ 組長への負担軽減を考慮し、各募金はイベント時の募金箱による回収と自治会予算化とし、組長による戸別集金は廃止した</li> </ul>	(12 件)
<p>● 自治会未加入世帯が増加している</p>	29 件
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 転入者世帯を中心に役員が訪問し説明等を行っている</li> <li>・ 未加入世帯にパンフの配布 未加入世帯に行事案内配付</li> <li>・ ゴミ収集カレンダー配付時、自治会加入チラシを合わせて全世帯に配布している（環美に依頼）</li> <li>・ 退会を希望する世帯には訪問の上、理由を聞き引き留めを計る</li> <li>・ 新規入居者等に自治会イベント、すまいるカード等をアピール</li> <li>・ 加入案内を作成し個別訪問し配付、説明など時々行っている。多くの居住者(地域全世帯対象)が参加できるイベントを実施して、未加入者には自治会への加入を進めている</li> <li>・ 未加入世帯への加入促進を年 2 回（春・秋）に行っている</li> <li>・ 隣組長経験者に引き続き自治会活動に参画してもらうため、自治会員とその家族の親睦組織を設立予定</li> <li>・ 自治会員が少ない為に「会員をふやそう会」を平成 28 年から行っている</li> </ul>	(28 件)
<p>● 高齢化により活動に支障をきたしている</p>	18 件
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢等の理由により自治会事業、回覧版回しが出来ない人（組長）を対象に、それをしなくてもよい「準会員」を新設した</li> <li>・ 隣組の編成見直し</li> <li>・ 高齢世帯には役員および自治会費半額等の実施</li> <li>・ 運動会競技種目における人員、内容等の一部変更等</li> <li>・ 盆踊りなど高齢化のため踊り手が減り、参加者が少ないなどの対策として盆踊りの他に、のど自慢なども作り活性化した</li> <li>・ 高齢者が集まりやすい施策(自治会館への簡易たたみの配備等)を実施している</li> </ul>	(21 件)
<p>● 行事、活動等の参加者が少ない</p>	9 件
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 祭りやイベントを開催する際にはできる限り実家に帰り参加して頂くようお願いしている</li> <li>・ 行事の精選、行事の工夫・改善</li> <li>・ スポーツ行事への参加者が減っている中、スポーツ行事の一部であるが、地区内で行っているファミリーゴルフ大会+いも煮会には高齢の方、小学生の方も参加し好評である。この様な身近で気軽に参加出来るような行事を増やせるか検討している</li> <li>・ 役員 O B に協力をお願いするとともに、若い人の意見を取り入れる事で、行事への参加を促す</li> <li>・ 自治会役員が手分けして参加を促す行動</li> <li>・ 盆踊り大会は高齢化のため踊り手が少なくなっているため「夏祭り」に変更し 多くの人が参加できる催しを考えている</li> </ul>	(0 件)

### 問 1 2 課題解決のために必要なこと

・問 1 0 で挙げられた課題解決のために必要なこととして最も回答が多かったのが、「役員負担の軽減」71%であり、問 1 0 の回答と比例した役員負担の内容になった。次いで、「次の担い手の育成」48%、「自治会加入促進」45%、「地域住民の意識啓発」37%と続き、一部の人だけでなく自治会活動を地域全体で支える必要性、世代交代の必要性を感じていることがわかる。



N = 143 (160)

### 問 1 3 課題解決のために自治会で取り組んでいること

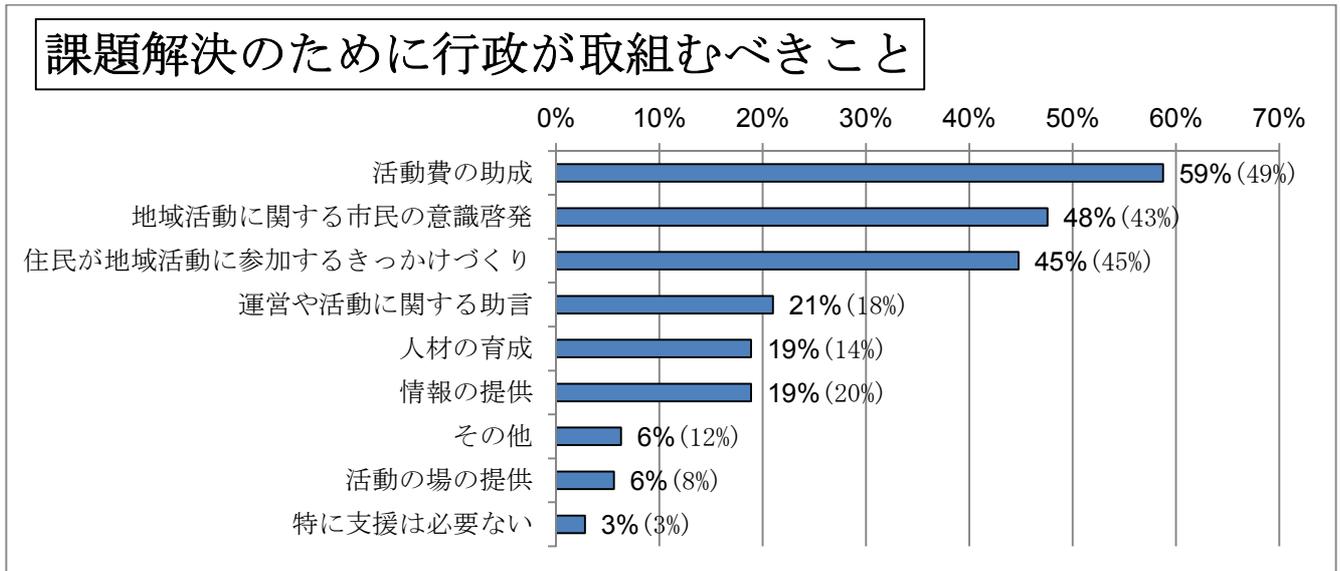
・問 1 2 で挙げられた課題を解決するため、検討・実施している取組について、83 の自治会から挙げられた主な回答を次のとおり分類・集計した。

自治会運営の課題解決への取組みの検討・実施	件数
<b>●役員負担の軽減</b>	15 件
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種イベントの主催を、各種団体への移行を徐々に行い、役員負担の軽減を図っている</li> <li>・盆踊りについて、当町の裏宿同友会に実施の依頼を行っている。（自治会から同友会に実行委員会を移行）</li> <li>・補佐役設置を検討</li> <li>・役員負担の軽減として、イベントを1つ休止している</li> <li>・現職の役員には日常活動を割りふらないようにしている</li> <li>・回覧物、集金（自治会費、助けあい運動募金）をある程度日常生活に余裕のある団体（長寿会）にお願いできるか検討する</li> <li>・OA化等で負担軽減を図っている</li> <li>・役員負担の軽減の観点から事業評価を行い、優先順位の低い事業を廃止、会議数の削減に努める</li> <li>・自治会事業の見直し、役員の適正配置</li> <li>・役員会を少なくしている</li> <li>・行事の慰労会など飲食を含む会を取りやめた</li> <li>・自治会長会議での活性化を考えるべき。全て行事ありきの会議では何の進展もなし</li> </ul>	(28件)

<p><b>●次の担い手の育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種団体との交流により次の担い手の育成を行っている</li> <li>・2年に1度の改選時、若い人の積極的勧誘と役員依頼</li> <li>・伝統的な地域の祭りに若い世帯（未加入世帯を含めて）が参加するよう、子ども向けの企画を取り入れている（綿菓子、ヨーヨーすくい、型抜き、ポップコーン等）</li> <li>・子供会、青年部との行事共催により、人事交流を促進し、人材確保を図っていく</li> <li>・自治会役員を含め、自治会活動への女性の参画を推進したい。</li> <li>・40才台の若手を積極的にブロック役員に選出し、経験等の教育を進める</li> <li>・意識して仕事をつくり、少しずつ自治会全体の流れが解るように仕事を分担している</li> </ul>	<p>14件 (2件)</p>
<p><b>●自治会加入促進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未加入者に対する、自治会加入促進のパンフレット配布（手渡とポスティング）</li> <li>・①過去加入者の現況確認 ②新築移住者への積極的加入説明</li> <li>・新規入居者等に自治会イベント、すまいるカード等をアピール</li> <li>・自治会加入の広報活動や勧誘。参加して楽しみを感じられる環境作り</li> <li>・定期的に未加入世帯ならびに転入世帯へ呼びかけを行っている（特に盆踊り大会、運動会の開催前に行っている）</li> <li>・盆踊り大会、運動会等の行事で自治会未加入世帯への加入促進運動（PR）等をポスター、声かけで実施</li> <li>・夏まつりやウォーキング大会等は自治会に入っていない人達にもPR中</li> </ul>	<p>17件 (10件)</p>
<p><b>●地域住民の意識啓発</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会の必要性を各自が認識しないと難しい</li> <li>・自治会に関わる人が増えれば一人に対しての負担は減ると思う</li> <li>・「自治会に加入しなくても何も問題がない」「自治会に入ると何がメリットあるのか」等々、損得勘定で地域の関わりを捉える「今さえ、自分さえよければ」の自己中心的な人達に対し、国・自治体は加入せざるを得なくなるような抜本的なお仕置き策を検討して欲しい</li> <li>・「ご近所お助け会」をスタートし、近隣住民の共助を推進している</li> </ul>	<p>5件 (12件)</p>
<p><b>●自治会活動のPR</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会加入パンフレットの内容の検証を行い、自治会の歴史や自助、互助、共助、公助の必要性を謳ったり、災害や防犯面での協力等、パンフの見直しと、パンフを自治会長宅に置く等の対応も必要ではないか</li> <li>・自治会のホームページを作成して公開している</li> <li>・自治会活動を知らせるため、月一回ニュースを発行（役員会を少なくしていることもあり、お知らせ事項が中心だが、月一回発行している）。最近を行っている行事などに少しでも興味を持ってもらおうと、行事などの写真を入れる様にしている</li> <li>・自治会だよりを自治会未加入世帯にも配布し入会をPRしている</li> </ul>	<p>7件 (21件)</p>
<p><b>●自治会・組の再編</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会活動及び運営の再構築を検討する検討委員会を作る予定である</li> <li>・隣組の編成見直し</li> <li>・自治会内の組織の再編</li> <li>・自治会の再編、2丁目内に自治会が3自治会あり、定期的に意見交換の場を順番に行っているが、（合併の話も含む）進展していない。お年寄りからの反対もあり。</li> <li>・現在、町内を4ブロックに分け各ブロック毎、担当副会長を設けているが、役員の成手が少ないため、組長・副会長の役員の配分を考え再編を検討する必要がある</li> <li>・隣接自治会と、行事及び将来的な自治会そのものの統合を検討</li> </ul>	<p>12件 (24件)</p>
<p><b>●その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会内交流機会の見直し</li> <li>・地区防災計画の他に自治会内での災害時協力体制の確立</li> <li>・支会を脱会している自治会に対して、防犯パトロールの実施や運動会の参加の協力を促している</li> </ul>	<p>5件</p>

#### 問 14 課題解決のために行政が取り組むべきこと

・「活動費の助成」59%、「地域活動に関する市民の意識啓発」48%、「住民が地域活動に参加するきっかけづくり」45%が上位を占め、資金面での支援、市民への啓発に期待を寄せていることが伺える。



N=143 (160)